



マッチング・グラント ロータリー財団への報告書

ロータリー財団
One Rotary Center
1560 Sherman Ave.
Evanston, IL 60201-3698, USA
ファックス: 1-847-556-2151
Eメール: contact.center@rotary.org

代表協同提唱者であるロータリー・クラブ／地区は、プロジェクト実施中 12 カ月ごとに中間(進捗)報告書を提出しなければなりません。最終報告書の提出期日は、プロジェクト完了後 2 カ月以内となっています。

プロジェクトに関する情報

マッチング・グラント番号 _____ プロジェクト実施国 _____

中間(進捗)報告書 最終報告書 報告期間 _____ から _____

実施国協同提唱ロータリー・クラブ _____ 地区: _____

援助国協同提唱ロータリー・クラブ _____ 地区: _____

プロジェクトの概要

1. プロジェクトを簡潔に説明してください。

a. 当初の目的は何でしたか。

b. 実際に達成されたことは何ですか。(写真を添付することで活動の様子がよりよく伝わります。受益者がプロジェクトに参加している様子や、これに関わったロータリアンの活動中の様子を写した写真をご提出ください。写真を撮った人の名前もご明記ください。)

c. プロジェクトはいつ、どこで実施されましたか。また、その恩恵を受けた人々は誰ですか。

2. プロジェクトの内容に変更があった場合、その理由と変更内容についてお書きください。

ロータリアンの参加と監督

3. ロータリアンはどのようにしてプロジェクトを管理、監督しましたか。

4. 実施国協同提唱クラブから何名のロータリアンが本プロジェクトに参加しましたか。 _____
5. 実施国協同提唱クラブのロータリアンはどのようにプロジェクトに参加しましたか。財政的な関与を除くすべての事柄をお書きください。

6. 援助国協同提唱クラブから何名のロータリアンが本プロジェクトに参加しましたか。 _____
7. 援助国協同提唱クラブのロータリアンはどのようにプロジェクトに参加しましたか。財政的な関与を除くすべての事項をお書きください。

地域社会への影響

8. 本プロジェクトから恩恵を受けた人々は何名ですか。 _____
9. 恩恵を受けた人々へのプロジェクトの影響はどのようなものですか。

10. 地域社会に対するどのような長期的影響が期待されますか。

財務報告書

使用通貨: _____ 為替レート: _____ =米貨 1ドル

11. 収入

収入源	通貨	金額
1. ロータリー財団マッチング・グラントおよび寄付金		
2. その他の収入(明記してください):		
3. その他の収入(明記してください):		
4. 利息収入(該当する場合):		
収入合計:		

12. 支出(必要に応じて欄を追加してください)

予算項目	業者名	通貨	金額
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
7.			
8.			
支出合計:			

13. 銀行取引明細書: 上に記入された収入、支出を証明するものとして、銀行取引明細書をこの報告書に添付しなければなりません。

重要:ご確認ください。

- 最終報告書に記された残高が米貨 200ドル未満の場合、認められている項目にお使いください。米貨 200ドル以上の残金がある場合は、ロータリー財団に返還しなければなりません。[注:インドでは、政府の規定により、残った資金のすべてを国際ロータリー南アジア事務局へ返還しなければなりません。]
- 米貨 25,000ドルを超える補助金を受給した場合は、各中間(進捗)報告書および最終報告書に独立会計検査報告を添付してください。
- 領収書の原本を少なくとも 5 年間、または地元の法律によってはそれ以上の間、保管してください。職員からの要請がない限り、ロータリー財団へ領収書を送ることは控えてください。
- プロジェクトに回転ローン資金を活用する場合は、ロータリーウェブサイト(www.rotary.org)から「Report Supplement for Revolving Loan Grants(回転ローン用追加報告書)」(英語)をダウンロードしてください。

14. 証明の署名(この報告書を証明するため、実施国または援助国の協同提唱者のいずれかの署名が必要です) 補助金がクラブに授与されている場合は現在のクラブ会長が報告書を証明し、地区に授与されている場合は地区補助金小委員会委員長が証明しなければなりません。

本報告書に署名することで、私の知識が及ぶ限り、マッチング・グラント資金が管理委員会の指針に従って使用され、ここに記されたすべての情報が真正かつ正確であることを確認します。すべての領収書原本は、会計検査に必要となる場合を考慮し、少なくとも 5 年間、または適用される法律によってはそれ以上の間、クラブで保管します。また、私は、本報告書に関連して提出した写真はすべて、RI の所有物となり、返送されないことも理解します。私は著作権を含めこの写真のすべての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可を RI とロータリー財団に与えます。これには、必要であれば、RI の独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RI およびロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

氏名(アルファベット表記): _____ 署名: _____ 日付: _____

ロータリーでの役職: _____ クラブ: _____ 地区: _____

補助金プログラムを向上させるため、以下の質問に対する皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

A. ロータリーへの影響－該当する項目すべてに印をつけてください。

- 本プロジェクトの結果、私たちのクラブまたは地区と海外のロータリーとのつながりが以前より強くなった。
- 本プロジェクトの結果、クラブの会員が増加した。
- 当地域社会においてロータリーの可視性が高まった。
- 当地域社会のニーズに対するクラブの認識が高まった。
- 当クラブまたは地区のボランティア活動が拡張された。
- クラブまたは地区で、財団補助金やロータリーのプログラムをより積極的に活用しようという気持ちが高まった。
- 当地域社会のニーズに対する海外のロータリアンの認識が高まった。
- 今回のマッチング・グラントへの参加の結果、当クラブまたは地区に特に大きな変化はなかった。

B. プロジェクトの維持可能性－該当する項目すべてに印をつけてください。

- 本プロジェクトは、財団の補助金期間終了後も引き続き機能していく。
- 補助金で購入された設備は、現地の資材と共に専門的な管理の下で保管されている。
- (本プロジェクトに研修が含まれている場合)人々は研修で学んだ知識や技能を応用している。
- 本プロジェクトは、当該地域社会の人々に自立に役立つ技能や知識、あるいは施設を提供した。
- 当該地域社会は同じあるいは類似した問題に取り組むための追加プロジェクトを開始した。
- 本プロジェクトは維持可能なものではない。

C. 提案事項

ご経験から、マッチング・グラント・プログラムをどのように改善したらよいと思われますか。

皆さまのプロジェクトがロータリアンによる参加を明確に表し、出版物に掲載されるべきであると思われる場合は、RIのウェブサイト(www.rotary.org)から入手できる「ロータリー・ニュース情報(ロータリー・プロジェクトの成功例)」にご記入の上、ご提出ください。受益者や実際に活動しているロータリアンの姿を写した写真を添付し、また、写真を撮った人の名前を明記してください。

報告書のチェックリスト

本報告書に以下の項目が含まれていることをご確認ください。

- 報告期間
- プロジェクトが何を、どのようにして達成したか
- ロータリアンからの参加、監督、管理
- ロータリーへの影響
- 項目別に記入した収入と支出
- 銀行取引明細書
- 証明の署名
- 米貨 25,001ドル以上の補助金の場合、第三者による独立会計検査報告

以下が完了していることをご確認ください。

- 実施国と援助国の双方の協同提唱者用の控えとして報告書のコピーをとる。
- 米貨 200ドルを超える資金の残額を返還する(残金の全額を返却しなければならないインドを除く)。
- 報告書と領収書のコピーを5年間、または適用される法律によってはそれ以上保管するファイルを作る。